

# 産業建設常任委員会報告

## 調査事項

### 観光振興策について

10月30日

町内の観光に関わる施設を視察し、事業や取り組みについて説明を受け質疑を行った。

#### 吉田町まちづくり公社

- 主たる活動の目的
- ・吉田町の魅力づくり
- ・吉田町の魅力発信
- 主な取り組み
- ・特産品（よしまちべっぴん）の紹介
- ・企業サポセンター（よしサポ）の運営
- ・北オアシスパークの多様な利用の誘導

#### 吉田町商工会

- 主な取り組み
- ・小山城楽市
- ・吉田野営
- ・月2回発行のPR紙
- ・観光部の復活
- ・未来創造委員会（吉田公園南側用地の可能性）

11月12日

各委員から町内視察調査の感想や意見の報告を行った。

告を行った。

12月9日

町内施設調査のまとめを行った。

#### 現状について

- 吉田町まちづくり公社
- ・限られた予算・マンパワーの中では思い切った取り組みが期待できない。
- ・施設利用者が3万人であることは親しまれている施設である。
- ・HPに力を入れている。

#### 吉田町商工会

- ・楽市は町内外の人が多く出店している。
- ・楽市は固定客も増え、効果が上がっている。
- ・吉田野営は来場者1万人へ成長してきた。

#### 課題について

○吉田町まちづくり公

社

・吉田インターから公社へ立ち寄り、情報を得てから各地を訪れる構想ができていない。

- ・北オアシスパークは町外の人が利用しやすい。公社主催のイベントはどうか。
- ・よしまちべっぴんの公募の3分の1は町外である。積極的な魅力発信を期待する。
- ・景観形成として公社の役割としてはどうか。
- ・司令塔となる必要があると考える。



北オアシスパーク

#### 吉田町商工会

・PFI方式につい

て、町と商工会との考え方に相違がある。

・楽市と小山城周辺活性化の計画が必要。

#### 今後の方向性について

- 吉田町まちづくり公社
- ・公社と商工会の協力は不可欠ではないか。
- ・PR活動で多くの人が訪れれば観光と同じ効果が得られる。
- ・小山城周辺の魅力発信を公社が担うのか。
- ・町は、町づくりの名にふさわしい施策を指すべきではないか。
- ・HPに観光マップや観光モデルコースなどアップし情報発信を、コースも都度変更してはどうか。

#### 吉田町商工会

・吉田野営は面白いイベントとして進化され、今後も楽しみである。

・観光部の復活は今後

に期待する。

・未来創造委員会の組織発展を期待する。

・イベントの提案をしてはどうか。

・PFI方式に関する町との調整が必要。

・野営はPRのチャンス、町を挙げての歓迎キャンペーンを企画してはどうか。

委員長 大石 巖

#### 「よしまちべっぴん」とは

町のほこれる特産品  
HP上でサイトを運営し、PRを実施  
種類—ウナギ加工品・料理、しらす加工品、和菓子、精肉など193品目

#### 「よしサポ」とは

産業振興を支援する企業サポートセンター  
相談日を設け、専門相談員の紹介、商工会や金融機関との連携で幅広く対応